



津山市綾部 430-1

暮れてゆく
暮れてゆく

12月を迎えて今年も最後の月となりました。年を重ねるごとに、こうして一年の終りを無事に迎えられる事がどんなに有難い事か身にしめます。今年2月にお店をオープンさせていただき私の仕事の方法もお客様も大きく変わりました。こんな場所に有る店を何度も迷いながら、何度目かにやっと『今日はたどり着きました』と来て下さるお客様。本当に有り難く、只々、感謝です。

心を込める。なんて目には見えなけれど、そんな方法で皆様にお応えさせていただくしかないと思っています。来る年も私なりの方法で納得できる物をお届け出来たら...と願っています。

「柚子」のもの
女始めました
柚子クーペに柚子のおしパン... 売れ台をご覧になったお客様が『柚子の物がいっぱいですね』。今年はスタッフに柚子のきざみを手伝ってもらって早くに柚子ピールを作る事が出来ました。何の添加物も加えず、お砂糖と柚子だけで作ります。時間と手間をかけて作る柚子ピールは出来ると黄金色に美しく光り輝きます。私は大鍋の中で光り輝く柚子を見ていつも自然の物の美しさに心を奪われるのです。

自然な物だけで作ります。我が子に食べさせたくない物を高品として作らない... 変らぬ想いです。

心にずっと引っ掛っています

いつもの様に金曜日の午前中に買い物に行きお店を出ようとしていた私はすれ違ったおじいさんを見て息をのみました。おじいさんは鼻血を出しておられます。出来るだけ立ち着いて『どうかされましたか?』と声を掛けると『財布がないじゃ。見ると鼻だけではなく、口、耳の中、後ろ頭からも出血していて、ジャンパーも血で汚れています。『ケガをしておられるからここに座って下さい』とイスに座っていただき、側に居た男の人にお店の方を呼んでもらいました。お店の方が来る間におじいさんと話した内容から察するとどうやら認知症の様でした。お店の責任者の方が来られたので認知症のようである事、ケガをしておられるので救急車を呼んで下さいとお願いして、帰りました。あの血だらけで、あそこに来るまで誰にも助けられずに来たおじいさんに、今のこの国の一端を見たようで、色んな思いが心に引っ掛っています

干し柿を干しています
私は幼い頃は干し柿があまり好きではありませんでした。最近になってあの美味しさに目覚めそして干し柿とチーズのクーペを焼くようになりました。今年も大切に柿を干して、皆様にこのパンを楽しんでいただきたいと思います。『干し柿とチーズ、合いますね』と言っていたにだけるように...

『桃、栗3年、柿8年、柚子はゆるゆる18年』と言いますが私が18年程前に種から育てた柚子の木は大きくなって今年は10個程の実をつけました。昔の人の言われることわざの正確さに脱帽。柚子は皮はジャムや柚子ピールに果汁はポン酢にそして種はホワイトリカーにつけて化粧水にと... 捨てる場所がありません

年末は12/24(土)まで営業致します。
年始は1/7(土)より営業致します。